

令和2年度 公共事業事後評価

治山事業(防災林造成事業) 御前崎市白羽(中西川右岸)地区

経済産業部 森林・林業局 森林保全課

1 事業の目的・必要性

保全対象

人家、県道、畑

海岸防災林



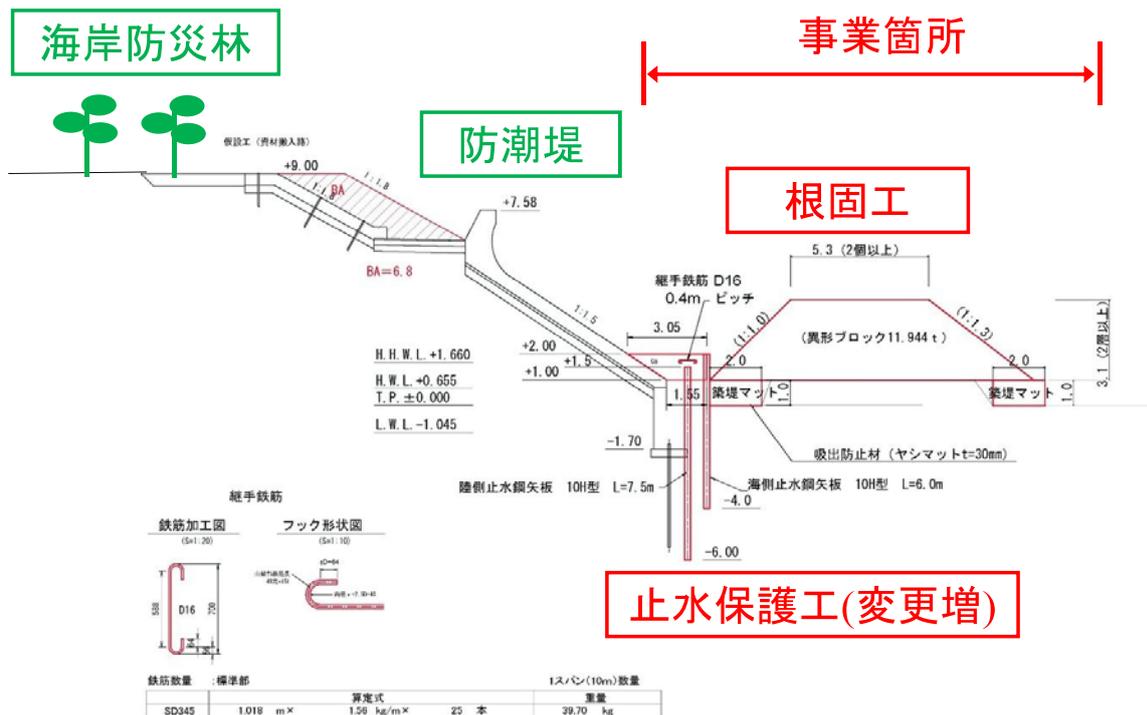
海岸防災林の役割

- ・背後地への風害、飛砂の害、潮害等の防備
- ・津波に対する多重防御の一翼

2 事業概要



2 事業概要 (標準断面図)



3 施設の利用状況や被害軽減効果 等

	事業費	事業期間	被害軽減効果
前回	575百万円	平成20～24年度 (5年間)	・潮害軽減効果 608,591千円
事後	849百万円	平成20～26年度 (7年間)	・海岸浸食防止効果 780,706千円
差	275百万円増加 (48%増)	2年延長	0 (被災する恐れのある海岸防林 1,121m→0mに減少)

防潮堤基礎部の著しい侵食



工法の再検討



基礎部に止水保護工を追加



平成21年10月8日
台風18号による被災状況

4 事業の効果の発現状況

事業完了時の状況



4 事業の効果の発現状況

防潮施設の状況

防潮堤基礎部の侵食なし



海岸防災林の生育基盤を保護する機能を発揮



4 事業の効果の発現状況

海岸防災林の状況

防潮堤により生育基盤が安定



海岸防災林の造成が進む

- | | |
|---|---|
|  | 海岸防災林造成区域: 延長 800m、面積2.2ha
(ふじのくに森の防潮堤づくり) |
|  | 既存海岸防災林 : 延長 540m、面積1.4ha |
| | 合計 : 延長1,340m、面積3.6ha
(施設災対応区間を含む) |

海岸防災林造成状況



※ふじのくに森の防潮堤づくり

: 平時には県民に親しまれる憩いの場となり、有事には津波に対する多重防御の一翼を担う



5 対応方針（案）

評価結果

事業効果は発現しており、改善措置の必要はない。

今後の課題と対応

- ・防潮施設の定期点検と補修の実施。
- ・海岸防災林の補植や下刈等の実施。

同種事業への反映等

防潮堤基礎部の侵食が危惧

⇒根固工と止水保護工を合わせた本工法の採用

⇒効果的な事業執行